

# 令和5年度 自己評価結果について

学校法人 青木学園  
 幼保連携型認定こども園  
 さくらだこども園

## 1 本園の教育目標

- 1 あいさつのできる子
- 2 心身ともにたくましい子
- 3 思いやりのある子
- 4 善悪の判断ができる子
- 5 人の話がしっかり聞ける子
- 6 最後まであきらめずにがんばる子

### 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- |                    |                            |
|--------------------|----------------------------|
| 1 健康な心と体           | 6 思考力の芽生え                  |
| 2 自立心              | 7 自然との関わり・生命尊重             |
| 3 協調性              | 8 数量や図形、標識や文学など<br>への関心・感覚 |
| 4 道徳性・規範意識の<br>芽生え | 9 言葉による伝え合い                |
| 5 社会生活との関わり        | 10 豊かな感性と表現                |

## 2 重点的に取り組む年齢別目標

- 0歳児 ……………生理的欲求を満たし、生活リズムをつかむ。  
 1歳児 ……………行動範囲が広がり探索活動を盛んにする。  
 2歳～満3歳児 …… 象徴機能や想像力を広げる。  
 3歳児 ……………身近な仲間や自然等々の環境と積極的に関わり、意欲を持って活動する。  
 4歳児 ……………信頼感を深め、仲間と共に感情豊かな表現をする。  
 5歳児 ……………集団生活の中で自立的・意欲的に活動し、体験を積み重ねる。

## 3 評価項目の達成及び取り組み状況

### 《評価基準》

- A：良好**（十分達成できている）      **C：不十分**（成果が十分でない、一部検討を要する）  
**B：おおむね良好**（達成されている）      **D：要改善**（取り組みが不十分である）

※総合評価：A, B, C, Dの基本評価に「+」「-」を付記して状況を表している

評価項目			A	B	C	D	取組状況	総合評価
(1) 指導計画について	① 認定こども園教育・保育要領や園の教育・保育目標を踏まえ、教育・保育課程を編成しているか	数値	8	17	2	0	・全体の計画では、園児の発達段階に即して、遊びを通して成長が促されるように配慮している。 ・5領域(健康・環境・人間関係・言葉・表現)を日々の活動に位置づけるようにしている。 ・教育保育要領、園目標、クラス目標に基づき、編成している。	B+
		%	30	63	7	0		
	② 指導計画は、乳幼児の発達に応じ個別に教育・保育目標を掲げ、目標を達成できるように作成しているか	数値	12	13	0	0	・一人一人の発達状況に応じて指導計画を作成している。 ・目標をスモールステップに設定し、個別の課題を解決できるように取り組んでいる。 ・自信を持てるように、自立が図られるように計画を立案している。	B+
		%	48	52	0	0		
③ 教育・保育についての反省や評価を適切に行い、改善を図っているか	数値	14	16	0	0	・日々の教育保育における反省を、日案の評価欄に記載し、成長点や改善点を明確にしている。 ・副担任や他学級職員と話し合いながら、具体的に改善すべきことを検討している。 ・行事中心の教育保育を改め、園児がゆとりをもって園生活を楽しめるように配慮している。	B+	
	%	47	53	0	0			
④ 指導計画をこどもの発達の姿、興味・関心に基づいて見直し、次の指導計画に生かしているか	数値	9	14	1	1	・園児の気持ちに寄り添い、計画が適切になるようにしている。 ・園児の発達状況や興味関心に着目することから離れ、指導面が強くなる場面が、時々見られる。	B+	
	%	36	56	4	4			

(2) 教育・保育内容について	① 特定教育・保育時間が十分確保され、基礎・基本を重視した取組をしているか	数値	17	15	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児の集中力が持続したり、活動や作業が終了するように取り組んでいる。</li> <li>・様々な経験ができるよう準備をし、製作や遊び等を進めている。</li> <li>・3歳児以上は、体操、英語では遊びをとおして基礎的な資質を身に付けさせている。</li> </ul>	B+
		%	49	42	6	3		
	② こどもの躰を大切にしているか	数値	27	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶、返事、食事のマナー、片付け等、発達段階に応じて指導している。</li> <li>・家庭と連携しながら躰を身に付けさせる必要があるため、保護者との情報交換を大事にしている。</li> <li>・保育教諭間での躰に関する考え方、取り組み方に違いがあることから、さらに共通理解を図りたい。</li> </ul>	A
		%	69	31	0	0		
	③ 発達段階を踏まえた運動や遊びを行っているか	数値	26	8	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢、学年にあった遊びを取り入れるよう心掛けている。</li> <li>・室内遊びや外遊びの時間を工夫したり、時間を確保して、園児が十分に楽しめるようにしている。</li> <li>・知識、技能、判断力などを養えるような玩具を用意し、少し難しいものに挑戦できるようにしている。</li> </ul>	A
%		74	23	3	0			
④ 異年齢児交流を大切にしているか	数値	15	15	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延長保育や預かり保育では、異年齢での活動や遊びを工夫して実施している。</li> <li>・他学年の園児と散歩に行ったり、運動会種目やお遊戯会演目を見学したりする機会を設けている。</li> <li>・餅つきを縦割りで実施したのは、よい機会となった。</li> </ul>	B+	
	%	43	43	14	0			
⑤ 行事の内容について、その価値を十分検討し適切なものを精選して子どもの負担にならないようにしているか	数値	18	17	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の様々な行事を、前年度の反省を生かして計画するようにしている。</li> <li>・運動会、お遊戯会、卒園式など、保護者に公開する行事や儀式では、練習が過多になる傾向があるので、適切な計画を作成したい。</li> </ul>	A-	
	%	49	45	3	3			
(3) 研修について	① 園内研修の計画・運営は適切か	数値	11	15	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の研修日を設定し、資料作成、研修実践を職員が担当し、資質向上に努めている。</li> <li>・保育行政、社会的なニーズ、喫緊の課題、新しい保育のあり方等について、様々な課題を設定して取り組みたい。</li> </ul>	B+
		%	41	55	4	0		
	② 資質、能力の向上を図るため自己啓発に努めているか	数値	13	14	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修内容を日々の教育保育に生かしたり、大学の先輩に助言してもらったりしている。</li> <li>・悩みや課題を、他の職員に相談したり、自分で考えたりしながら取り組んでいる。</li> <li>・図書館や書店等で、保育専門書等に触れたり購読したりしている。</li> </ul>	B+
		%	40	42	18	0		
	③ 研修会、講習会等への参加体制の充実を図っているか	数値	5	15	5	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日の研修会や講習会への参加は難しい。</li> <li>・オンライン研修への参加はできた。</li> <li>・コロナ禍後、徐々に研修会が開催されつつあるが、保育時間内の研修会参加には園内環境が整っていない状況がある。</li> </ul>	B
		%	18	54	18	10		
	④ 研修会、講習会等での内容を園内に還元しているか	数値	8	17	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修や幼保小連携研修会等に参加した場合は、園長・副園長へ報告しているが、園内職員で内容を共有し、資質向上に努めたい。</li> </ul>	B
		%	29	60	4	7		

- ◆園内研修は、保育部・教育部で定期的(月1回程度)に、テーマ・課題研修を実施。
- ◆自己啓発は、職員各自が職責遂行に伴う資質向上として、自宅研修等において実施。
- ◆園外研修会として、民間保育所等連絡会主催研修会、市教委主催「幼保小連携に関する研修会」
- ◆園長講話研修「ICT活用(情報連絡アプリ導入に伴う研修)」 ◆その他(キャリアアップ研修)

(4) 安全・健康・食育について

①	担任は決まっているが、全職員で全園児を保育・教育するという共通理解しているか	数値	27	9	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児の情報、課題等について、毎朝の打ち合わせや職員会議等で共通理解を図っている。(アレルギー、怪我、家庭内問題等)</li> <li>・全職員が全園児に関わるという意識で、教育保育に取り組んでいる。</li> </ul>	A
		%	71	23	3	3		
②	園児の安全確保や交通事故防止に配慮しているか	数値	28	8	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練(地震、火災、不審者侵入、水害)を年間をとおして実施し、反省し、改善している。</li> <li>・安全点検、日直点検をはじめ、危険箇所等を発見した際は、速やかに報告し改修している。</li> <li>・園外保育の際は、横断歩道や標識等について実地指導している。</li> </ul>	A
		%	74	21	5	0		
③	不審者が園内に侵入した際、どのように対応するか理解しているか	数値	29	9	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者対応避難訓練を年1回実施している。</li> <li>〈合言葉〉「とらくまさんが来ています」</li> <li>〈避難行動〉園児は教室隅で「ダンゴムシポーズ」</li> <li>〈職員の動き〉窓、ドア鍵締め、バリケード</li> <li>〈通報〉警察110番直通ボタン</li> <li>〈防御〉ヘルメット、刺叉、その他</li> </ul>	A
		%	74	23	2	2		
④	感染症予防に努めているか	数値	34	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗い、うがい、換気、手指消毒、玩具や机消毒を着実に実施している。(教室内環境)</li> <li>・園児への健康指導、防寒対策に取り組んだ。</li> <li>・保護者へ情報提供や注意喚起を実施している。</li> </ul>	A
		%	81	17	2	0		
⑤	登園時の園児の健康観察に努めているか	数値	25	8	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徒歩通園の園児の場合、保護者と話したり、顔色を観察したりしている。</li> <li>・バス通園の場合は、向かい入れた際、顔色や様子をしっかりと観察する。</li> <li>・ゴドモン(アプリ)で寄せられている、健康に関する情報を確認する。</li> </ul>	A
		%	74	23	3	0		
⑥	疾患のある園児に対し、かかりつけ医からの指示に基づいて対応しているか	数値	20	10	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疾患の内容によるが、投薬の必要があれば、適切に対応している。</li> <li>・出席停止の園児には、医師の指示に基づく登園確認書を提出してもらっている。</li> </ul>	A
		%	65	32	3	0		
⑦	園児の与薬(投薬)を要請された場合、かかりつけ医の指示など、留意事項を確認しているか	数値	24	8	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則、予約はお断りするが、やむを得ず保育中に投薬の必要がある場合は、処方箋による薬を対象としている。</li> <li>・投薬依頼書の提出に基づき、担任及び園長(主幹)が投薬を確認し、依頼書に確認印を押している。</li> </ul>	A
		%	73	24	3	0		
⑧	園児が落ち着いて食事(おやつ)を楽しめるように配慮しているか	数値	19	16	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児同士の会話が増え、楽しく食事をしている。</li> <li>・食べるのが遅い園児もいることから、食べ終わる時間を設定して「食べること」を意識させている。</li> <li>・食べ終わった園児には本を読むようにさせ、騒がしくないようにしている。</li> </ul>	B <sup>+</sup>
		%	54	46	0	0		
⑨	食事のマナーについて、食事をしながら話しかけるなど、自然に身につくよう工夫しているか	数値	20	14	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事前に確認しているが、難しい園児には個別に声をかけて対応している。</li> <li>・「口の中に食べ物が入っているときは、しゃべらない」を徹底している。</li> <li>・食事のマナーが身に付いてない園児が多いので、家庭の協力が必要である。</li> </ul>	B <sup>+</sup>
		%	54	38	8	0		
⑩	園児が楽しく食べることができるよう、食育の計画を作成しているか	数値	7	15	5	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養バランスを園児に伝え、楽しく食べられるよう計画していきたい。</li> <li>・メニュー等を伝え、食事に興味を持てるようにしている。</li> <li>・紙芝居や、絵本を利用して、食事や栄養に関心が持てるようにしていきたい。</li> </ul>	B
		%	23	50	17	10		

⑪	食物アレルギーのある園児に対し、かかりつけ医と連携して、除去食を取り入れるなどの配慮をしているか	数値	27	7	1	0	・保育部の給食では、除去食を提供している。 ・教育部の給食は業者委託なので、除去食の提供ができないことから、保護者と連携し、お弁当を給食用機に詰めてもらっている。 ・教育部では、成分表、献立写真を渡し、事前に確認してもらっている。	A
		%	77	20	3	0		
⑫	園児の体調に応じて、食事の量を調整するなどの配慮をしているか	数値	27	8	0	0	・園児の体調の変化が食事量にも関連することから、注意深く見て、無理には食べさせないように配慮している。 ・健康観察と合わせて、一人一人応じた量と食べ具合を確認している。	A
		%	77	23	0	0		
①	保護者との情報交換の内容を、必要に応じて記録しているか	数値	18	16	3	0	・個人面談の他、必要な情報は記録に取り、後日見返せるようにしている。 ・職員間で共有したり、間違いがないよう、ノートにまとめている。 ・一人一人のノートを作り書き留めておいた方がいい内容や日々の様子を記録している。	B <sup>+</sup>
		%	49	47	8	0		
②	保護者からの相談内容などを、自分ひとりの問題にしないで、園全体で受け止めようとしているか	数値	26	9	1	0	・誤解や間違いがないように、園長・副園長や同僚職員に相談している。 ・返答に迷う内容等は、確認してから答えたり、相談があった旨を報告したりしている。 ・捉え方、考え方が違うことから、多くの職員で考えて、共通理解を図っていく。	A
		%	72	25	3	0		
③	地域の家庭を対象とする相談や遊び場の提供など、子育て支援のための園の取り組みを理解しているか	数値	18	17	3	0	・子育て支援センターでの活動を知るとともに、センターだより(カシオペア)による情報提供がある。 ・未就園児教室(教育部)を開催し、親子活動や親離れへの支援をしている。	B <sup>+</sup>
		%	47	45	8	0		
④	一人一人の園児について、虐待を見抜くことができるよう配慮しているか	数値	23	10	4	0	・職員間での情報共有するとともに、日常の様子を注意深く見守るようにしている。 ・身体にあざ等があった際は話を聞き、園長・副園長に報告し、見過ごさないようにしている。 ・保護者とのコミュニケーションや家庭での過ごし方等で気になるところは、記録や報告をしている。	A <sup>-</sup>
		%	62	27	11	0		
⑤	虐待の疑いがある情報を得たとき児童相談所(市保育課)などに照会、通告を行う体制を理解しているか	数値	26	10	2	0	・職員全体で理解するとともに、虐待防止マニュアルに基づいて対応する体制を整えている。 ・要保護児童対策協議会と連携し、早期発見早期対応に取り組んでいる。 ・園内研修や職員会議等で、共通理解を図る必要の事例を取り上げている。	A <sup>-</sup>
		%	69	26	5	0		

#### 4 今後の取り組むべき課題

- ◆指導計画を立案は、園児の発達段階を踏まえ、系統的に指導内容を編成する。
- ◆安心安全な園内環境を整え、園児から目を離さず見守る体制を一層強化する。
- ◆感染症等、様々な疾病に関する情報に敏感になり、流行防止や迅速な対応に取り組む。
- ◆園児の危機管理能力が身に付くよう、様々な避難訓練で実地指導を工夫する。  
避難訓練での職員一人一人が役割・行動を熟知し、常に最適な避難誘導ができるようにする。
- ◆行事等は、常に「計画・実施・評価・改善」(PDCAサイクル)に基づき実施する。  
練習を伴う行事については、園児の負担に配慮するとともに、ねらいを明確にして取り組む。
- ◆園外研修会への参加ができる体制を確立し、職員の資質向上を図る。  
園内研修を一層充実させ資質向上を図り、専門性を高めて教育・保育ができるようにする。
- ◆食育計画を確立し、園児の栄養、食材、献立等への関心を高め、食事のマナーを定着させる。
- ◆一般常識・教養・接遇等に関心をもち、社会人としての資質向上を図るとともに、保護者、地域からの信頼を高める。

#### 5 財政状況

監査法人の詳細な監査により、適正に運営されていると認められている。

